

三田市私立幼稚園連合会
会長 川田・長嗣 様

三田市長 森 哲 男



三田市私立幼稚園振興に関する要望書について（回答）

平素は、市政の推進に格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、令和 2 年 11 月 20 日に提出のありましたみだしの件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1 新型コロナウイルス感染拡大防止について

① 今後厳冬期を迎え第三波が懸念され、更なる対策が必要と感じています。

・感染懸念の中現場で頑張る職員に慰労金の支給をお願いします。

（三田市回答）新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にある中で、感染予防対策を行い継続的に保育を実施していただいていることに感謝申し上げます。このような状況をふまえ、市内の私立保育所、認定こども園、小規模保育施設に勤務する保育士等の職員に対して慰労及び継続して業務に従事していただくため、慰労・奨励金を給付するよう令和 2 年 12 月三田市議会定例会で補正予算を上程し議決されました。（1 人 50,000 円）

今後円滑に各施設を通じて支給できるよう事務を進めていきます。

②園職員の予防的な PCR 検査等の費用負担の軽減をお願いします。

（三田市回答）新型コロナウイルス感染症の予防対策は重要であり、国の補助金を活用しながら、保育所、認定こども園等での新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液等の購入、かかり増し経費（感染症対策に係る人件費）に係る支援を予算化してきました。令和 2 年度 12 月議会においても、延長保育や一時預かり事業分について補正予算を上程し議決されました。各施設におかれましては、当該補助金の活用により、引き続き感染症対策に取り組んでいただきたいと考えております。

なお、PCR 検査体制の拡充や検査費用の公費負担については、いただいたご意見を踏まえ、国・県の動向を注視しながら、必要に応じて要望を伝えさせていただきます。

2 人材確保について

① 市町間で人材獲得策を競う傾向の中益々深刻化する求人難にあたり

・新規職員の採用にあたり支度金の支給をお願いします。奨学金を受けて養成校を終える学生も増えています。

（三田市回答）待機児童解消に向けて、保育士の確保が重要な課題となっていると考えます。

そこで、市内の私立保育所、認定こども園、小規模保育施設での勤務を選択した令和3年4月採用予定の新卒保育士に対して、事業者が就職準備金を支給する場合に、1人100千円を上限として、その全額を補助する内容の補正予算を令和2年12月三田市議会定例会で上程し議決されました。

今後円滑に各施設を通じて支給できるよう事務を進めていきます。

② 引き続き合同就職フェアの開催についてご支援ください。

また、三田市私立幼稚園連合会のホームページで実施したりリモート開催について市の協賛をいただきたいと思います。

(三田市回答) 待機児童解消に向けて、保育士の確保が課題となっていることから、市内各園合同での就職フェアの開催は1つの有効な方策であると考えます。次年度についても、ハローワーク三田等関係機関との連携により実施できるよう支援を行っていきたいと考えております。

また、三田市私立幼稚園連合会がホームページで実施されたりリモート就職フェアについては、コロナ禍の状況をふまえ、また広く就職希望者が閲覧できる保育士確保のための有意義な取り組みであると考えます。市としても、啓発など可能な協力をさせていただきよう検討させていただきます。

③ 自宅外通勤者に対する借り上げ社宅制度を維持願います。また、三田市特有の不動産事情を考慮し、園負担が極力軽減されるよう制度の修正をお願いします。

(三田市回答) 待機児童対策を進める中で、保育士の確保も課題となっていることから、人材確保の取り組みを支援していくことは重要です。三田市保育士宿舎借り上げ支援事業は、市内宿舎の借り上げを要件にしており、保育士が市内に転入し、人材の安定確保につながることを考えられます。

つきましては、継続を前提に予算編成の中で検討していきたいと考えます。

また、基本的には国補助事業を活用し、その内容に基づき実施しています。このため、国の事業要件にかかる課題等については、市内各園の意見を伺いながら必要に応じて兵庫県を通じて国に要望させていただきよう検討します。

④ 在職職員や在宅資格者の免許更新研修の受講についてご支援をお願いします。

(三田市回答) 教員免許や保育士免許を所持しながら子育て等のため離職していた潜在的な幼稚園教諭、保育士への復職支援については、人材確保方策として重要です。

教員免許更新講習は文部科学省の認定を受け大学で実施されるものですが、下記の兵庫県事業の周知を図るとともに、今後どのような支援が有効か市内各園の意見を伺いながら、取り組みを進めていきたいと考えます。

・潜在保育士就職準備金貸付(窓口:兵庫県保育協会)

潜在保育士等が認定こども園、保育所等に新たに雇用された場合については、就職準備金として最大40万円(令和2年4月1日以降の金額は未定)の貸付を受ける制度があり、県内の認定こども園、保育所等で2年間引き続き保育に従事した場合は全額返還免除(同様に要件を満たせば未就学児をもつ保育士に対する保育料一部貸付制度も有)

・兵庫県保育教諭確保のための資格・免許取得支援事業(窓口:三田市 ※取りまとめのみ)
保育士資格、幼稚園教諭免許取得、更新のための費用の1/2(上限100,000円)を補助

3 給食費の負担軽減

1・2号子どもの給食費は保護者負担となっています。しかし、食育の重要性、こども食堂という

扶助事業の広がりもあり、他市では無償化する事例が出ています。本市においても給食費の負担を軽減していただきますようお願いいたします。

(三田市回答) 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化においては、これまで保育料に含まれていた給食費(副食費)以外の費用が無償となっています。

これは、在宅で子育てをする場合や学校給食での自己負担の考えと同様となっています。

副食費については、低所得者向けの減免制度もあることから、全体としての無償化については限られた財源の中で慎重に考えていく必要があります。また、各市単独で実施するのではなく国の制度として実施していくものと考えています。今後課題等を検証しながら、兵庫県を通じて国にご意見を伝えていきたいと考えます。

4 教育振興助成金補助金の維持・増額について

新制度等の対応に要するIT化支出等々、消費税の増税等増大する諸経費に対し私立幼稚園教育振興助成金を増額してほしい。

⇒私立幼稚園教育振興助成金 1,500,000円/年

(三田市回答) 認定こども園については、平成27年度から従前の私立幼稚園教育振興助成金1施設850,000円に150,000円増額した「運営改善事業補助金1,000,000円」を支給しております。

今後、待機児童対策として保育供給量を拡大していくことに伴い、施設の運営等に必要な費用として施設型給付費による支援が益々増えていくと見込んでいます。つきましては当該補助金の増額は困難な状況ですが、現状維持での継続を前提に予算編成の中で検討していきたいと考えます。